東京都立武蔵高等学校
同窓会事務所
〒180-0023
武蔵野市境南町2-10-24
第二ときわビル2F
Tel & Fax 0422-53-5270

武蔵

42
2007. 5.10



「兎がとぶ」　宮本　能成　（昭和37年卒14回生C組）

今年のホームカミングディは19回生 & 5・6・7・8回生

今年の同窓会総会・懇親会

日　時： 6月3日（日）
受付開始12時30分　総会13時30分
場　所： 武蔵野スイングホール
（武蔵境駅北口より徒歩2分）
アトラクション： 中山ラビ　ミニライブ
懇親会： 15時より　レインボーサロン
会　費： 一般会員　2,000円
学生会員　1,000円
新卒会員　無料
出　欠： ご出席の方は、同封のハガキでお知らせください。

平成18年度卒業生同窓会幹事名簿

ご 挨 拶



同窓会会長　土屋　正忠

同窓会会員の皆様、健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、母校都立武蔵高校は平成20年から中高一貫校となります。中学校の部3クラス、高等学校の部5クラスで総クラス数は今までと変わりありません。長い歴史の転換期にあたり、新しい飛躍のときを迎えました。同窓会も母校の新しい門出を祝って、できる限り支援したいと思います。

ところで、この改革により、今まで8クラス320人の卒業生から5クラス200人に減ることになります。同窓会財政に与える影響も少なくありません。今後とも財政運営にあたってはさらに注意深く行なっていきたいと思います。

近年、東京都の指導により、同窓会に卒業生全員が自動的に加入していたことを変更して、個人の意思を問うという形になりました。役人の建前の論議だと思いますが、その結果、昨春の卒業生のうち60数名が加入を辞退しました。

私は昨年暮れに卒業を間近に控えた生徒集会に出席し、同窓会の役割と意義について語ってまいりました。「人間は父母から受け継いだ生命と世界中の人々が様々な富やサービスを生み出した“連続”の中で生きている。人間関係を大切に。同窓会はその器である」と。

幸い、今年の卒業生は全員が加入届けを出してくれたとのことでした。

皆様、ご縁を大切にこれからも都立武蔵高校の卒業生であることに誇りを持っていきましょう。

ホームカミングディ

Home Coming Day

19回生と5回・6回・7回・8回生

懐かしい笑顔がはじけます！！

毎年、同窓会総会後の懇親会で、卒業後40年になる同期の「ホームカミングディ」が行われますが、今年は19回生の皆さんが集います。思い出の写真展など、幹事さんたちがさまざまな企画を立ててお待ちしています。

合わせて、卒業後50年を超える5回・6回・7回・8回生の皆さんにもホームカミングをお誘いしています。クラスの皆さんにお声をかけて、ぜひご一緒に参加してください。

18年度同窓会総会報告

6月4日（日）、武蔵高校同窓会が開催されました。今年は同窓会創立60周年に当たり、記念のパーティも盛大に執り行われました。

総会は［　　］（11回生）の司会で始まり、［　　］（10回生）により執り行われ、17年度の事業報告、会計報告、18年度の事業計画・予算が満場一致で可決されました。

総会後、「武蔵高校のこれから」をテーマに、井田良克校長による講演が行われました。中高一貫教育校に生まれかわる新しい学校が、武蔵のよき伝統「自由と自律」の精神を受け継ぎ「地球学」を教育活動の中心方針とするという内容でした。

その後、創立60周年記念パーティがレインボーサロンで開かれ、多くの先輩の談話、会場周囲を60年の思い出が詰まった「我が青春の武蔵」写真パネルで飾り、その一部にホームカミングディの18回生の在校時と、その後の40年間の思い出写真が展示されました。

総会アトクラクション　中山ラビ　遂に同窓会に登場！



今年の同窓会イベントには、伝説の女性フォークシンガー、中山ラビさん（××回G組）をお招きしてミニライブを開催します。年令・本名は営業上（？！）の秘密のため公開できませんが、ラビさんはれっきとした武蔵生。高校の英語の授業で教材として聞いたボブ・ディランの「風に吹かれて」に衝撃を受けたのを契機に卒業後、当時の関西フォークシーンに飛び込んでいったことは、よく知られた事実です。

1972年にファーストアルバム「私ってこんな」でレコードデビュー、以後、80年代にかけてライブ活動のかたわら深夜放送のDJをつとめるなど多彩な活躍を展開するが10ほど活動休止、1999年ころから再起動して現在に至る。2006年7月には2枚のアルバム『ゴールデン☆ベスト中山ビラ』『ラビ組』をリリースして絶好調、今年も猫やカルメン・マキらと精力的にライブ活動をしています。

そんな中山ラビさんのステージを、この機会にぜひお楽しみください。ラビさん曰く「若い人たちも来てよねっ！」とのことでした。

クラス・同期会・クラブOB会だより

共学元年第５回生同期会

幹事代表 [redacted]

平成18年５月19日、武蔵野スイングホールにて、高校５回生の第６回同期会を開催しました。我々５回生は武蔵における「男女共学１回生」でもあります。卒業時328名の同期生も、53年後の現在は連絡のとれる方246名となってしまいました。当日は吉田夏先生、兵頭信彦先生にも臨席いただき、同期生64名が出席いたしました。

93歳になられた吉田先生から我々の10年後、20年後にむけて示唆に富むご教訓を賜り、我々の入学とほぼ同期に赴任してこられた兵頭先生からは、当時の裏話をご披露いただきました。会は約３時間、全員の自己紹介やゲームなどを楽しみ、次回の再会を約束して散会となりました。

前回平成16年のこの会は、同期生の大半が「古希」を迎えるということで、帝国ホテルで開催しましたが、吉田先生、関塚先生、同期生65名と、今回とほぼ同じ人数で盛会でした。平成18年は同窓会創立60周年でしたが、我々が入学した昭和25年が学校創立10周年の年に当たり、記念行事が行われたことが思い出されます。

この５回生の同期会は、今後２年おきの（次回は平成20年）５月に武蔵野スイングホールで開催します。初めての方も是非ご参加下さい。あのころのことを語り合おうではありませんか。



第８回生同期会の報告

[redacted]（D組）

平成18年５月18日（水）12時30分より新宿の「センチュリーハイアット東京」クリスタルルームにて、卒業50年記念同期会を開催しました。当日は、吉田夏先生、飯田敏江先生のご出席を得て総勢99名の和やかで楽しいパーティーでした。50年ぶりの再会で、初めのうちは顔と名前は一致せず、名札をみながらの会話が時間が経つにつれ、高校生に戻り50年前の話に花が咲き、２時間では足りず閉会後、皆楽しげにクラスごとの二次会に流れていきました。

この同期会の開催に大変ご尽力いただきました[redacted]さんはじめ各クラスの幹事様にお礼申し上げます。



13回卒業生45周年同期会

昨年11月12日の午後、ホテル東急イン吉祥寺で。兵頭、関塚、岩瀬の3先生の出席をい



ただき総勢128名の参加。今回はメインイベントがG組幹事福井君力作の、在学中の写真150枚のスライドショー。各クラス毎に映し出されるクラスメートのかつての姿に「誰だ？」「可愛いー」などワイワイガヤガヤ、40分余りを楽しんだ後は、恒例のフォークダンスをFの[redacted]のリードで、Bの[redacted]の指揮で校歌斉唱をし、3時間あまりの会を閉じました。

23期同期会
空前の170名を超える大パーティ



50才を過ぎると、なんとなく回帰傾向が強まり昔の仲間に会ってみたくなるもの。53才となった23回生が念願の同期会をついに実現しました。１年前から８回も会合を重ね周到に準備を進めてきた幹事団の努力の結果、2006年５月20日、武蔵野スイング・レインボーサロンには166名もの同期生が参集、恩師も柴平、藤本、石澤、小森、松本、松永、吉田各先生と多数お見えになり、総勢173名の大盛会となりました。

26期同期会
華やかに初の同期会

50代に入ったばかりの26回生も初の同期会を開催しました。2006年10月29日、雨天の予報を覆し、暖かな快晴となった一日、吉祥寺の第一ホテルに140名の同期生が集いました。会場ではあちらこちらで互いを確かめ再会を喜ぶ歓声が上がり、32年の時を一気にさかのぼりました。最後は校歌で締めくくり。誰はばかることのない全員の大合唱に胸がジーンと熱くなりました。



24期同期会　もう3回目



４年ごとに開催してきた24回生の同期会は今回で３回目。2006年９月16日、いつもどおり武蔵境のレインボーサロンで開催し、105名が集いました。担任団の中本保子、白濱政毅、吉田政史三先生は相変わらずお元気、今回は女性陣のリクエストにより中本利信先生もお招きしました。初回ほどの感激･興奮はなくなりましたが、在校時には言葉を交わしたこともなかった人が新たな仲間となって交流の輪が広がり、絆はますます強まっています。

昨日・今日ー近頃の私…

（10回生B組）

定年後の田舎暮らし

「田舎へ行って何をするの？」

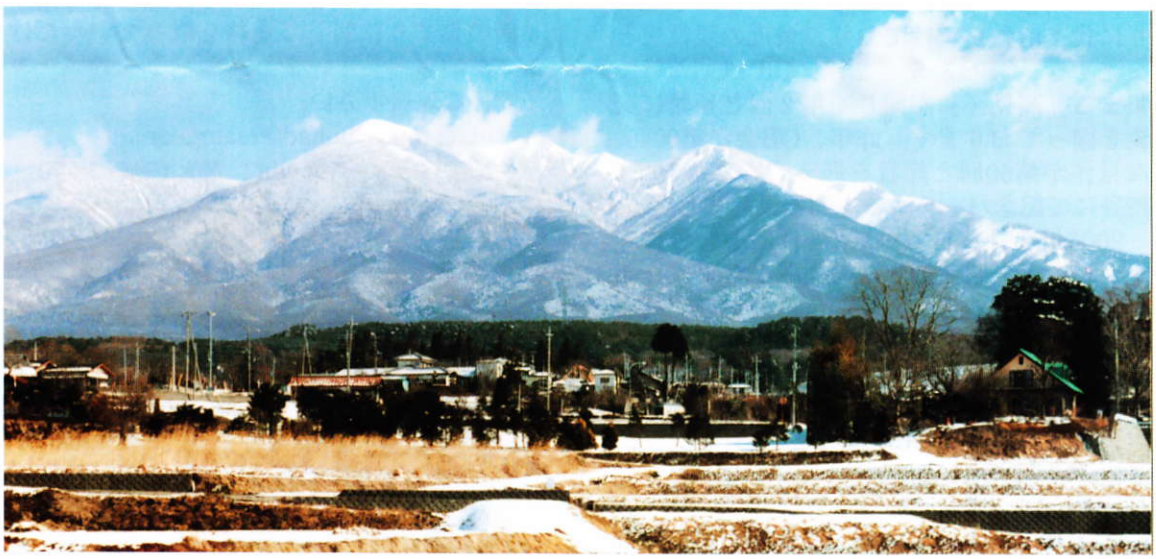
田舎暮らしを打ち明けると、大方の友人はこう聞いて来る。

平均寿命80歳を越える今、60歳位で仕事から放り出されて何をやっていけばいいのか。趣味だ、旅行だといっても年金でどこまで出来るというのか。定年までにローンを返済し、持ち家があればいい。そうでない人に都会での年金暮らしはきつかろう。都会では25坪の土地に3階建ての家が5千万円。とても買えない。持ち家の無かった私は田舎に逃げ出すしかなかったのだ。

小渕沢の田舎で、300坪余の土地に30坪の平屋の家が建った。南に甲斐駒が見え、東に八ヶ岳が聳える。周りは田畑で夏には蛙の声が喧しい。救急車のサイレンも暴走族のバイクの音も無く、夜は暗闇と化し、満天の星が賑々しい。雪の積もった冬などは、全ての音が死に絶えてしまう。そんな時何をしているのか？一人静かにパソコンに向かう。ケーブルを介して都会と繋がっている魔法の箱である。此処から東京の新聞社に原稿を送り、2年間田舎暮らしの連載をやった。日曜大工ならぬ、日常大工でテラスもガレージも薪小屋も作った。畑ではジャガイモ、人参、葱、トマト、茄子、胡瓜、枝豆などを収穫しては子供たちに宅急便で送った。農作業の合間には草笔り、芝刈りが待っている。加えて週三回のテニスだ、ボランティアの日本語教室・FM局だと忙しい。

これから定年を迎えようという人よ。都会を脱出して田舎へ来てご覧。友人は大勢出来る。忙しく、充実した毎日がある。四季折々の変化が、カメラを持って外へ出ろと言う。空気は綺麗で、いい汗をかき、腹が減る。車で三分の温泉で温まる。晩酌が旨い。では、お休み・・・おっと言い忘れた。カミさんの説得が最大のハードルである。





現役クラブ・OB会活動紹介

卓球部OB会「同球会」45周年

卓球部OB会「同球会」は、2006年4月23日に吉祥寺東急インにて結成45周年祝賀会を開催しました。

祝賀会には、元顧問の柴平、中根両先生や同球会も参戦している都下社会人卓球リーグ関係者を来賓に迎え、OB/OG合わせて総勢50名が参集しました。出席者の方からは思い出深い写真を紹介しながら高校時代の活躍、結成当初の経緯から現在の活動状況報告などがあり、話は尽きませんでした。会の締めくくりには、5年後の50周年での再会やOB会が100年以上存続することを祈念して校歌を全員で唄いました。

同球会は、卓球愛好メンバーで、毎週1回の練習と5月の連休中の河口湖での合宿を45年間継続して行っています。つい最近まではメンバーの高齢化が課題でしたが、今年に入り大学生や現役高校生も練習に参加し、ずいぶんと若返りました。今後は、さらに卓球道を極めるため活動の場を広げようと、世界や全日本のベテラン大会にも参加しています。

最後になりますが、毎週土曜日の夕方、世界チャンピオンも輩出した吉祥寺の武蔵野卓球場を借りて練習をしています。練習に参加希望の方や同球会に縁りのある方は連絡頂けると幸いです。

1回生C組 [redacted]

URL：http://homepege3.nifty.com/itani-m/dq/



OB・OG会連絡協議会開催

昨年5月、母校のクラブ・サークルの初のOB・OG連絡協議会が、土屋同窓会会長も出席して、吉祥寺東急インでおこなわれました。

大菩薩ヒュッテの維持管理の山岳部をはじめ、バスケット部、卓球部、剣道部や生物部など文化系のクラブも活発に活動しています。

当日は前記クラブを含めて、17クラブ・サークルの20数名が集まり、それぞれの現状報告や今後の運営方法などの意見交換がありました。卒業間もない56期、57期の若手の参加者もあって和気あいあいの連絡協議会でした。

最後はみんなで校歌斉唱、今後いろいろなクラブに働きかけて母校の発展と卒業生同士の友情の絆を拡大することで散会しました。

また今年も第2回目の連絡協議会を予定します。

ご意見ご感想があれば同窓会事務局クラブ・サークル連絡協議会宛て皆様の声をお寄せください。

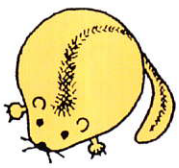
[redacted]

ヒュッテのアルバム

50年間の思い出がいっぱい



大菩薩ヒュッテのアルバムができました。昨年ヒュッテが設立50周年を迎えこれを機会にヒュッテ管理員会は記念事業として、ヒュッテの歴史・存在を永久に残すため、「大菩薩ヒュッテ」アルバムを作成いたしました。20頁程の写真集ですが50年間の青春の思い出がいっぱい詰まっております。周辺の花・動物・景色なども収め、美しいアルバムに仕上がりました。このアルバムは、学校・同窓会事務局・PTA・山岳部同窓会事務局で保管し記録を永久に残すものです。今号ではアルバムの中を少し覗いて見ましょう。





ヒュッテのホームページ

URL（http://members.at.infoseek.co.jp/d_hutte/d_hutte/main.htm）です。

Yahoo等の検索で「大菩薩ヒュッテ」と入力してアクセスするほうが簡単です。

※ ヒュッテの申込み・問合わせは ※

山岳部OB会事務局へお電話を！



紹介してください

今年、同窓会会員は2万3千人を超えました。母校では、各界で活躍する卒業生の「著名人」のリストを作成中です。最近増えたマスコミからの問い合わせに対応するだけでなく、在校生に対する講演、公開セミナーなども企画中とのことです。同窓会としても、本誌でご紹介したいと考えています。

理系・文系は問いません。あなたの同級生、同期生にこのような方がいらっしゃれば、ぜひご推薦ください。



進路一覧表（平成19年4月7日現在）

国公立大学	男	女	浪	計
北海道大学			2	2
茨城大学			1	1
筑波大学	1			1
埼玉大学			2	2
千葉大学	1	1		2
東京大学			1	1
東京医科歯科大学			1	1
東京外国語大学	1	2		3
東京学芸大学	4	3	5	12
東京農工大学	6	1	2	9
東京芸術大学			1	1
東京工業大学			1	1
電気通信大学	1			1
一橋大学	1		1	2
東京海洋大学			1	1
横浜国立大学	3			3
群馬大学		1		1
信州大学			1	1
福島大学	1			1
京都大学	1			1
大阪大学			1	1
大分大学		1		1
琉球大学	1			1
首都大学東京	8	5	1	14
大阪市立大学			1	1
埼玉県立大学		1		1
国際教養大学	1			1

私立大学	男	女	浪	計
青山学院大学	6	8	3	17
跡見学園大学		2		2
大妻女子大学		2		2
学習院大学	1	3	4	8
亜細亜大学	1			1
北里大学	1	2	2	5
共立女子大学		4	1	5
杏林大学		5	2	7
国立音楽大学		2		2
慶応義塾大学	6	2	3	11
工学院大学	1		1	2
国学院大学	1	5	2	8
国際基督教大学	2		4	6
国士舘大学			1	1
駒沢大学	2	3	3	8
実践女子大学		2		2
芝浦工業大学	5	1	5	11
昭和音楽大学		1		1
上智大学	9	3	2	14
昭和女子大学		3		3
創価大学	1	2		3
女子栄養大学		1		1
白百合女子大学		2	1	3
順天堂大学		3		3
成蹊大学	9	7	4	20
成城大学	3	2	4	9
聖心女子大学		1		1
専修大学	9	5	6	20
大正大学		2		2
大東文化大学		1		1
拓殖大学		2		2
玉川大学	1	1	2	4
多摩美術大学	1	4		5
中央大学	7	13	25	45
津田塾大学		7	6	13
帝京大学	2	3	1	6
東海大学	1	1		2
東京家政大学		8		8
東京経済大学	2			2
東京工科大学	2	2		4
東京女子大学		15	6	21
東京造形大学	1	1		2
東京電機大学	6		2	8
東京農業大学	3	4	7	14
東京薬科大学	5	3	3	11
東京理科大学	22	4	12	38
東洋大学	2	2	6	10
日本大学	7	19	14	40
日本獣医畜産大学		1		1
日本女子大学		10	1	11
日本社会事業大学		4		4
日本赤十字看護大学		3		3
文教大学		1		1
法政大学	17	12	15	44
星薬科大学	1		1	2
武蔵大学	2	2	3	7
武蔵工業大学	5			5
武蔵野大学	2	4	1	7
武蔵野美術大学	1	3	1	5
明治大学	26	8	29	63
明治学院大学		7	2	9
明治薬学大学	3	1	1	5
明星大学	2			2
立教大学	17	26	20	63
早稲田大学	34	10	33	77
十文字学園女子大学		1	1	2
駒沢女子大学		1	1	2
国際医療保険大学		3		3
独協大学	1		4	5
目白大学		1		1
北海道医療大学			1	1
神奈川大学		1		1
文化女子大学		3	1	4
東京慈恵医科大学			1	1
埼玉医科大学			1	1
京都造形大学		1		1

文部省所管外の大学校等	男	女	浪	計
国立看護大学		2		2
防衛大	1		1	2

国公私立大学合格者の内訳

	現役			浪人	合計
	男	女	計		
国公立大学	29	15	44	22	66
私立大学	231	267	498	250	748
文部省所管外の大学校等	1	2	3	1	4
合計	261	284	545	273	818

「兎がとぶ」は、冬に向かい始める頃、それまでの日本海とは一変して、白い波頭が兎がとぶ様に見えることから題名にしました。

冬の序章です。

初めての冬の日本海は、毎日雪とともに生きる生活を想い、その厳しさに、ただ立ち尽くすばかりでした。

その後10年ぐらい、毎年訪れながらも写生のみで終わっていたと思います。

その頃は、主に沖縄を題材にしていました。アメリカから復帰し、ビザの不要になった1971年、はじめて沖縄に1ヶ月程旅しました。晴海埠頭から3日間揺られて、亜熱帯の海の向こうに浮かぶ縄のような姿を見たときは感動しました。船底の2等船室の一隅で三味線（サンシン）で唄い、泡盛をくみ交わし談笑する沖縄人（ウチナンチュー）の若者達と親しくなったことも思い出します。

沖縄へは毎年通って、多い年は年3回程ということで、30年以上です。

白黒の世界と極彩色の世界



日本画家　宮本　能成さん

1973年卒14回生C組。1969年 東京藝術大学絵画科（日本画専攻）卒業以後、東京、沖縄、秋田等で個展・グループ展で作品発表。1970年より日本アンデパンダン展、立川平和美術展、調布平和美術展等に出品。現在、日本美術会会員。絵本、挿絵なども多数手がけている。

強い日差し、豊かな色彩の中で、あの戦争から過酷な現実は続いています。でも、楽天的なたくましい人々、特にオバアたちは魅力的です。一生懸命描いた沖縄も、技量不足や行きづまりを感じだしたころ、度々は行けなくなった状況も重なり、あの冬の日本海を描きたいと思いました。それから悪戦苦闘で10年程がたっています。沖縄から一転し、鉛色の空、白と黒の世界……。初めはそう見えていた中に少しずつ豊かな色が見えてきました。じっと耐えた生活のでも、底抜けに明るく、たくましい姿、ちょうど、雪解けを待つ土手のふきのとうをみつけた時のおどろきの様です。

次に沖縄に行ったときは、以前と違った別の姿をみつけられる予感で、楽しみにしています。

自分の想いを描くことで、一筋の道になってゆくことを願っています。「日くれて道遠し」と思う一方、描く喜びを、日々感じています。

平成19年度　退職・転出入者名簿

卒業生23,114名　住所不明者及び物故者6,602名